

常緑 / 多年草 / 地被類等 / シダ植物 / 在来種



**科名** トクサ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：普通  
草本扱い (保証の観点より)

庭石の添景に配植すると風情ある和風の景ができる。また、モダンなアレンジにすれば、洋風にもなる。ストロー状の茎の節に小さな葉が集まり鞘 (さや) 状に見えるため、独特な姿になる。トクサ(砥草、木賊)は、トクサ科のシダ植物。本州中部以北の沢や湿地に自生する。



緑葉



新芽



胞子 (先端部)



列植

**Memo**

茎はケイ酸を含み、熱湯に通し乾燥させて研磨に使われる。そのため、研草(とくさ)の名がある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花 期	(花はつけない)					■ (胞子)							
	果 実	(実はつけない)												
	紅 葉													
	施 肥	(不要)												
	剪 定	(枯れ枝の除去と不要な地下茎の切除)												

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	○	湿
寒 さ	強	○			弱
暑 さ	強	○			弱
潮 風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

**ポイント**

庭石や竹垣などを背景にすると、垂直に伸びる茎が引き立つ。日当りの良し悪しは選ばないが、日差しが強いと葉焼けする。繁殖力が強いので、見切り (仕切り) を設けるとよい。

**剪 定**

古い茎や傷んだ茎を取り除くと美観を保てる。地下茎により自然に増えてくる。目的以外の場所に伸びた地下茎は、早目に切除する。伸び過ぎる時は、縁石やレンガなどで縁止めをするとよい。

**病虫害**

病虫害は少ない。